

「できない」と諦めなくても大丈夫！



目標：故郷の四国へ帰りたい

①長時間の移動に耐えられる筋力作り
立位・歩行訓練を日常的に行い、車椅子移動から短距離なら自立歩行可能に！

②メンタル面での不安を取り除く
食事を拒否されるほどメンタル面は不安定でしたが、水分摂取やコミュニケーションを続けることで、笑顔がふえました！

「してもらう介護」からの卒業

ほうらい苑では自立支援介護、ユニットケア介護を通して入居者様のやりがいや生きがいを取り戻していただけるように日々ケアをしています。自分で出来ることを伸ばし、出来ないことはサポートして、多職種で協力し合って入居者様それぞれの目標に向かって支援してまいります。家族会ではその一例をご紹介します。

令和初の家族会実施

9月15日
日曜日

・特別養護 老人ホーム
・ショートステイ
073-448-3333

・デイサービスセンター
073-448-3335

・ケアプランセンター
073-448-3336

ほうらい新聞

職員紹介

緊張で笑顔が引きつる職員一同

先ずは職員紹介から。おなじみのメンバーもいますが、フレッシュなスタッフもたくさん入りしました。全員この家族会に参加できなかったのが残念ですが、スライドにて全職員の紹介をさせて頂きました。2階はフロア主任の藤本、リーダーの田中を筆頭に入居者様フアーストで入居者様の為なら何でもします！といったスタッフばかりです。3階はフロア主任兼リーダーの原田を中心とした、ベテランのスタッフが多く在籍しています。急変や入居者様の体調の変化にいち早く気付けるスタッフが多数です。4階はフロア主任の藤本とリーダーの濱出がまとめ、スタッフ同士の仲の良さは1番のプロアです。入居者様のケアについてもしっかり決めていきます。6階は相談員の石橋、リーダーの西谷が中心の少数精鋭集団です。ショートステイという事もあり、フロアでのイベント行事が一番多く、常に明るいフロアとなっています。



看護スタッフは丹下主任がまとめる美人集団です。入居者様の安全で安楽な生活を支えてくれています。その他専門職、事務職員、ランドリースタッフの総勢約80名のスタッフが入居者様一人一人のことを想い、日々奮闘しています。至らない点や、何かお気づきのことがあれば遠慮なくお声をかけてください。

写真：右から3階6階フロア主任原田、生活相談員山崎、2階リーダー田中、2階4階フロア主任藤本、4階リーダー濱出、6階リーダー西谷、ケアマネージャー川村、機能訓練指導員板原、管理栄養士中島、看護主任丹下

Café Plageにご案内！



今年3月からオープンしたカフェブラージュ。窓からは和歌浦湾の絶景が広がります。なかなか外出したくない入居者様にもご来店いただきやすいかと思えます。普段とは違った雰囲気の中、飲むコーヒーは絶品だとのお声も頂いております。ドリンクも多種ご用意しておりますので、家族様もぜひご来店ください。併設している理美容室では、受賞経験もある外部の美容師さんが、一人一人に合った髪型にカットしてくれます。理美容室内の椅子への座り替えが可能な入居者様ならご予約いただけます。ご利用希望の方は、事務所受付までお声をおかけください。

個別機能訓練加算とは？

- 機能訓練について
- ①特養における機能訓練の定義
 - ②特養の機能訓練と病院のリハビリの違い
 - ③個別機能訓練加算について
 - ④機能訓練指導員の役割
 - ⑤新しく搬入した車椅子の紹介

①機能訓練とは「理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、看護師、准看護師、柔道整復師、あん摩マッサージ指圧師などが減退防止を目的に提供する訓練のこと」と定義されています。筋力や認知機能が低下することにより、生活全般に介助が必要になってきます。そういったことを運動不足によって徐々に低下していき、それを防ぐために訓練を実施しています。②病院では医師の指示に基づき、機能の維持、回復を目的とする訓練を行います。特養では機能訓練指導員が減退防止を目的に提供します。病院では脳梗塞や骨折等の怪我によって低下した機能を回復させる治療をリハビリといいますが、特養では治療よりも機能維持、低下を予防していくことを目的としています。また、病院では必ず専門家が1:1で個別にリハビリを行うのに対し、特養では専門家が個別に機能訓練を行うことはもちろん、専門家が介護職員に対して、生活場面で指導、指示するといったことも可能です。③病院のリハビリでは20分を1つの括りとして、料金が発生します。特養においては要介護度や訓練時間に関係なく1日あたり12単位、自己負担額にして1日12円月額にするのと300円/400円程度料金が発生します。詳しくは板原まで。



写真右：歩行訓練の様子
左上：標準型車椅子 左下：リクライニング型車椅子

- ④機能訓練指導員の役割
- ▼利用者様に対して運動を行う
 - ▼床ずれができないように休まれる姿勢を整える
 - ▼利用者様に合った車椅子の提供
 - ▼積極的にコミュニケーションをとる
 - ▼動作の仕方などを介護職員に伝達依頼する

マリナーの花火を鑑賞



夜の部ではカフェから花火を鑑賞。夜にも関わらず、複数の家族様に参加いただきました。家族様からは「一緒に花火を観るのなんて本当にと喜ぶの声を頂きました。夜の行事はほんの1度あるかないかのイベントでした。天候にも恵まれ、皆様の笑顔が観ることが出来たことが功の行事となつたことを心より感謝いたします。

理事長から一言

令和初の家族会を実施することができ大変嬉しく思っています。当施設も開苑12年目を無事に迎えることができ、また当初からの目標でもあった「ご家族様との連携のもと、質の高い介護サービスを目指し、一人でも多くのご利用者様の目標を叶える・笑顔を増やす」ということが現実になってきている様に感じます。また、素敵なカフェもオープンすることができ、着実に目標が現実になりつつあることに感謝の気持ちでいっぱい입니다。これからも全職員で協力しながら質の高い介護サービスの提供を目指し、取り組んでいきたいと思えます。また、このような家族会を今後も開催します。この「情報の共有の場」として今回も参加できなかった家族様もぜひご参加いただけることを願っています。これからもどうぞよろしくお願いたします。